

地域・日本の新たなレガシー形成事業

事業目的・背景・課題

- 将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる、**地域・日本のレガシー（遺産）となる新たな観光資源を形成**するため、令和4年度より各地方運輸局等で実現可能性調査・プラン作成を実施。
- 令和6年度以降は、上記に加え、令和4・5年度に発掘した事業のうち**日本を代表する魅力となり得る良質な案件を対象に、事業の実現に向け重点的に検討する。**

事業内容

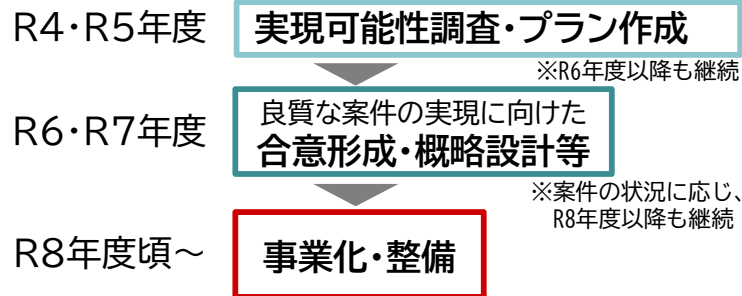
取組内容：

レガシー形成を促進するための実現可能性調査及び調査結果を踏まえたプラン作成、事業化に向けた検討、関係者調整等

実施主体：

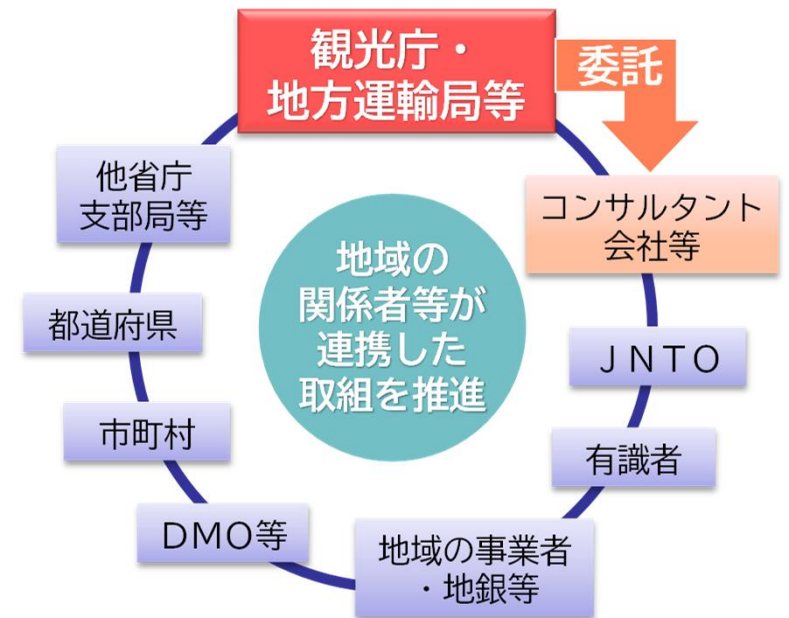
観光庁・各地方運輸局等（地方公共団体等と連携）

推進イメージ：



歴史的建築物の復元と
リつりん
宿泊等への活用（香川県栗林公園）

実施体制



レガシー形成の考え方：

1. 地域において最も輝いていた時代の建築物や文化を面的に再現し、活用していく取組
2. 地域で脈々と受け継がれてきた自然・景観、食、文化、遺産（日本遺産、重要文化財、伝統技術等）等を、面的に又は線で再現し、活用していく取組
3. 地域における自然・景観、食、文化、人（住民）と、アートなど新しく創出した資源との融合により、地域に人々を惹きつける取組
4. シンボリックで一点豪華主義なものを創出していく取組